

施策 3 2 2

ものづくり・成長産業の振興

【担当部局：雇用経済部】

県民の皆さんとめざす姿

三重のものづくり産業が、産学官の連携により、技術力を向上させるとともに、世界的な成長が見込まれ本県の強みを発揮できる航空宇宙分野や福祉・医療分野などへ挑戦し、より付加価値の高い製品づくりを行うことで日本のものづくり産業の発展を支えています。

平成 31 年度末での到達目標

県内のものづくり企業が自社の特徴や強みを生かし、技術的な課題解決や新たな分野展開にチャレンジし、その結果、高付加価値製品の生産に取り組んでいる企業が増加しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
ものづくり中 小企業におけ る、従業員 1 人 あたりの付加 価値額		10,783 千円		10,983 千円		11,383 千円
	10,163 千円					
目標項目 の説明	工業統計におけるものづくり中小企業の付加価値額（営業利益、減価償却費、人件費）を、同統計におけるものづくり中小企業の従業員数 1 人あたりで割った額					
29 年度目標値 の考え方	平成 25 年実績 10,383 千円から平成 30 年実績（平成 31 年度目標）は 1,000 千円増加（11,383 千円）させることをめざしており、毎年 200 千円増加させることを目標に、平成 29 年度の目標値を 10,983 千円に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
32201 ものづく り・成長産業へ の参入促進（雇 用経済部）	県内で新たに航 空宇宙産業へ参 入・事業拡大を した企業数（累 計）		15 社		20 社		30 社
		10 社					
32202 ライフイ ノベーションの 推進（健康福祉 部）	医療・健康・福 祉分野の製品・ サービス開発数 （累計）		7 件		15 件		34 件
		—					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
32203 ものづくり基盤技術の強化（雇用経済部）	ものづくり中小企業が自らの経営戦略に基づき取り組み、事業化を進めた件数（累計）		35件		70社		140件
		—					
32204 技術開発の推進（雇用経済部）	共同研究等による企業の課題解決数（累計）		27件		54件		108件
		—					
32205 ものづくり企業の販路開拓の促進（雇用経済部）	企業等の技術交流会等により成約に至った商談数と共同研究に進んだ件数（累計）		13件		26件		52件
		—					

現状と課題

雇用経済部

- ①強じんて多様な産業構造の構築に向けて策定した「みえ産業振興戦略」に基づく取組を効果的に進めていくため、「『みえ産業振興戦略』アドバイザーボード」を9月に開催しました。アドバイザーボードで得た経営者、有識者等の意見を参考に、引き続き、県内産業のステージアップに向けた取組を進める必要があります。
 - ②成長産業である航空宇宙産業への参入を促進するため、航空機部品の製造にあたり必要とされる特有の認証（J I S Q9100、N a d c a p）について、専門家によるコンサルティング支援や認証取得に係る経費の補助を行っています。また、10月に東京で開催された「2016年国際航空宇宙展」への出展支援等を通じて県内の航空宇宙産業を広く紹介する取組を行うとともに、商談会を開催します。人材育成については、喫緊の課題である現場人材の不足に対応するため、O J Tを活用した育成支援（8社）や技術講座（C A Dセミナー：6社9名参加）を開催するとともに、航空宇宙産業分野に関する専門講座の受講支援などを進めています。さらに、今後の本県における航空宇宙産業分野の人材の定着を図るため、国の「トビタテ！留学J A P A N」制度を活用して、学生等が航空宇宙産業分野における海外留学を行う際の支援を企業等と連携して進めています。（学生5名、社会人2名を留学生として採択）
- 引き続き、本県が強みを発揮できる分野を生かしながら、強じんて多様な産業構造の構築に向けて、航空宇宙産業を育成する必要があります。

- ③ものづくり中小企業の基盤を強化するため、試作品開発等の取組支援として平成28年10月末までに、メイド・イン・三重ものづくり推進事業費補助金の交付決定を4件行うとともに、国の資金を活用した設備投資を促進し、ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金103件の採択につなげました。また、多くの中小企業にとって共通の課題である設計技術や評価技術について、専門家を交えた研究会を10月末までに3回開催し、課題の解決とものづくり技術の向上に取り組んでいます。さらに、中小企業自らが行う研究開発や知的財産の取得に対する支援については、公益財団法人三重県産業支援センターと連携して、10月末までに国内出願5件や外国出願4件に対して支援を行いました。今後も引き続き、ものづくり中小企業の技術課題解決に貢献していくため、行政をはじめ、研究機関、高等教育機関、産業支援機関が一層の連携を図る必要があります。
- ④本県企業の技術開発力をより一層強化するため、工業研究所が保有する設備や知見を活用し、平成28年10月末までに企業との協働による新技術導入試験を2件、補助金申請のブラッシュアップ支援を42件、企業の課題解決を図る共同研究を27件、現場派遣等技術支援を31件実施しています。引き続き、新たな企業ニーズに対応できるよう、「町の技術医」として中小企業の課題解決に向けた身近なパートナーの役割を果たします。
- また、厳しい参入競争が見込まれる成長分野の技術競争力を確保するため、エネルギー関連技術の開発や、海外・大都市圏で販売可能な県内食品の技術開発等を進めています。エネルギー関連技術については、県の技術開発を効率的に推進し、シーズ創出を促進する企業との共同研究を平成28年10月末までに6件立ち上げました。食品の技術開発の取組においては、イチゴ、メロン、カキなど様々なドライフルーツ技術の検討を進めるとともに、企業による新酒開発に向けて、高生産性・高香気性をもつ日本酒の新酵母を開発しました。引き続き、共同研究につながる技術シーズの創出に向けて、これらの技術開発等を進める必要があります。
- ⑤ものづくり中小企業の技術や製品の販路拡大のため、大手企業等との技術交流会を3回開催し、63件の商談がありました。加えて、県内最大級の産業展示会である「みえリーディング産業展2016」を11月11日～12日に開催しました。また、優れた経営を行う中小企業を表彰する「三重のおもてなし経営企業選」では市町や商工団体、金融機関等の協力も得て公募を行い、11月に4社を表彰しました。一方、大企業等からは、設計や試作段階から参画できるような技術力の高い中小企業への期待が高まっており、両者のマッチングの機会を創出していく必要があります。
- ⑥三重県と北海道との産業連携では、7月に北海道で開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア」に三重県として出展し、三重県の魅力や県内企業の技術力などについてPRを行いました。また、11月の「みえリーディング産業展2016」では北海道ブースを設置しました。今後も、両地域の強みや地域資源を生かした産業連携を進める必要があります。

健康福祉部

- ⑦高齢化社会の進展等に伴い増加する健康需要に対応するため、ものづくり企業の高い技術力や県内医療機関の医療情報を収集したデータベース、みえライフイノベーション総合特区の取組による産学官民金の支援体制等を活用して、ヘルスケア分野の製品・サービスの創出に取り組んでいます。引き続き、これらの取組を強化するとともに、ICT技術や薬用植物を活用した新たな製品・サービスの創出もめざすことにより、ライフイノベーションを推進する必要があります。

- ⑧伊勢志摩サミットや「認知症サミット in Mie」において発信された提言に基づき、認知症施策における産業面での取組を加速するため、認知症の人やその家族が暮らしやすい環境整備に貢献する製品・サービスの創出に向け、製品化への仕組みの構築や企業等への支援に取り組む必要があります。

平成 29 年度の取組方向

雇用経済部

- ①『みえ産業振興戦略』アドバイザーボード」で得た意見を参考に、県内産業の振興に向け、成長産業の創出・育成などの取組を進めます。
- ②世界的な成長産業である航空宇宙産業への参入を促進するため、特有の認証（JIS Q9100、Nadcap）に係る理解促進や取得を支援します。また、人材育成について、喫緊の課題である現場人材の不足に対応するため、引き続き、OJTを活用した育成支援や技術講座を開催するとともに、国の「トビタテ！留学JAPAN」制度の活用等により、将来的な航空宇宙産業人材の育成を進めます。
- ③ものづくり中小企業の基盤技術を強化するとともに、それぞれの技術的課題の気づきや解決につなげることができるよう、産学官が連携した研究会を開催します。また、中小企業自らが行う研究開発や知的財産の取得に対する支援については、企業のさらなる発展に向けて、工業研究所や大学、公益財団法人三重県産業支援センターなどの支援機関と連携して、技術支援から経営支援までを総合的に実施します。
- ④本県の技術開発力を底上げするため、工業研究所が保有する設備や知見を活用し、引き続き「町の技術医」として中小企業の課題解決に向けた身近なパートナーの役割を果たします。また、産学官の研究会をベースとして、地域資源や成長産業等における新たな技術シーズの創出から個別の企業の技術課題解決のための共同研究まで、一貫して県内中小企業の技術開発支援に取り組みます。
- ⑤ものづくり中小企業等の技術力向上や販路拡大につなげるため、大手企業との技術交流等を図る機会を設定し、中小企業等による大手企業に関心事項等の情報収集と、大手企業が行う開発案件や製品等に対する技術の売り込みを支援します。また、優れた経営を行う中小企業を「三重のおもてなし経営企業選」として発信し、県内企業の魅力を全国へPRします。
- ⑥三重県と北海道の地域の強みや地域資源を生かして、新ビジネスの創出や地域活性化につなげるため、相互の連携を深めていきます。

健康福祉部

- ⑦先進的な医療機器や医薬品、薬用植物を活用した商品、予防・健康管理等の製品・サービスを創出するため、県内外の企業とのマッチングや製品開発のための技術支援、製品等の実証、販路開拓等、企業の取組段階に応じた支援を行います。
- ⑧認知症ケアに必要な製品・サービスを三重県から創出していくため、三重大学や地域包括支援センター、企業等が連携し、情報共有・意見交換することで、製品化等が促進されるような仕組みづくりを行います。

主な事業

雇用経済部

- ①航空宇宙産業振興事業【基本事業名：32201 ものづくり・成長産業への参入促進】
予算額：(28) 23,873千円 → (29) 26,376千円
事業概要：世界的な成長産業である航空宇宙産業の振興を図るため、「みえ航空宇宙産業振興ビジョン」に基づき、生産技術の習得等を図る人材育成、認証取得の支援等による参入促進、国際戦略総合特区制度を活用した事業環境整備などに取り組みます。

- ②航空宇宙産業地域創生人材育成事業【基本事業名：32201 ものづくり・成長産業への参入促進】
予算額：(28) 77,274千円 → (29) 77,274千円
事業概要：航空宇宙産業への新規参入、事業拡大に必要な現場技能者や高度技術者等の安定的な確保・育成を図るため、県内の航空宇宙産業に関わる企業において、現場OJTを中心に、外部の専門講座受講等のOFF-JTを組み合わせた人材育成を実施します。

- ③（新）みえ産学官連携基盤技術開発研究事業【基本事業名：32203 ものづくり基盤技術の強化】
予算額：(28) ー千円 → (29) 11,393千円
事業概要：県内ものづくり企業の競争力の強化や付加価値額の増大につなげるため、産学官が連携する研究会を設置し、協働による新技術導入などに取り組み、県内中小企業・小規模企業の基盤技術力の向上を図ります。

- ④高度部材に係る研究開発促進事業【基本事業名：32203 ものづくり基盤技術の強化】
予算額：(28) 42,787千円 → (29) 42,825千円
事業概要：北勢地域に集積する組立加工産業と素材・部材産業等との連携によるイノベーションを誘発するため、高度部材イノベーションセンター（AMIC）を拠点に、大企業と中小企業・小規模企業の連携や多様な人材・研究機関等のコーディネートによる研究開発の促進、中小企業の技術課題解決等への支援を行います。

- ⑤（一部新）中小企業・小規模企業の課題解決支援事業【基本事業名：32204 技術開発の推進】
予算額：(28) 32,945千円 → (29) 44,025千円
事業概要：県内中小企業・小規模企業が抱える技術課題を解決するため、新商品開発等の企業ニーズに応じて共同研究を実施するとともに、依頼試験や機器開放、人材育成研修等の技術支援を行います。

- ⑥国内販路開拓支援事業【基本事業名：32205 ものづくり企業の販路開拓の促進】
予算額：(28) 3,257千円 → (29) 2,857千円
事業概要：中小企業・小規模企業の販路拡大の機会を創出し、新たな取引先の開拓を支援するとともに、川下企業のニーズの把握やネットワークの構築・強化を図るため、川下企業との出前商談会等を開催します。

⑦みえ産業企業選事業【基本事業名：32205 ものづくり企業の販路開拓の促進】

予算額：(28) 919千円 → (29) 917千円

事業概要：優れた経営を実践している中小企業・小規模企業を表彰し、その魅力を発信するため、「三重のおもてなし経営企業選」を実施します。

健康福祉部

⑧（一部新）みえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業

【基本事業名：32202 ライフイノベーションの推進】

予算額：(28) 30,774千円 → (29) 28,592千円

事業概要：医療機器・医薬品等の製品開発や販路開拓の促進のため、M i e L I P等との連携による企業マッチング等を実施するとともに、薬用植物の産地形成に向けた環境整備のための支援を行います。また、介護する側に加えて認知症の人自身にも目を向けた生活支援機器等の開発を促進するため、認知症の人やその家族、医療・介護関係者、企業等の意見交換等の場を設け、その意見等が製品開発等に反映されるような支援を行います。